

令和5年度 西東京市立保谷第二小学校 学校評価 [前期]

■学校教育目標	「自ら伸びる」 ○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
■目指す学校像	●地域社会との協働により、それぞれの児童の教育ニーズに応じ、次代を担う市民を育む「社会の雛形」としての学校 ●生涯にわたって心の拠り所となる「地域のふるさと」としての学校
■目指す児童像	●知・徳・体の調和がとれ、自らの向上を図る「自ら伸びる」児童 ●他者を尊重し、集団の中で積極的に自らの役割を果たそうとする児童
■目指す教師像	●専門職としての使命感と誇りをもち、創意工夫に満ちた指導の充実に努め、子どもの心に灯をともしことのできる「プロフェッショナル」の教師
■前年度までの学校経営上の成果と課題	[成果] 西東京市研究奨励校として、コミュニティ・スクールへの円滑な移行を果たし、複合単元「市民科」におけるリアルな地域課題を通して、児童の「学び方」「考え方」の学びを進めた。 [課題] 地域拠点の役割を果たすため、2軸「花」「安全・安心」を一層推進する必要がある。そのため、後者に関して、保護者や地域住民も参画する、かつてない「避難所開設訓練」を実現する。

関連教育目標	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	質問内容(教…教職員 児…児童 保…保護者)	教員の結果(%)					児童の結果(%)			保護者の結果(%)									
					A	B	C	D	対象外	A	B	無回答	A	B	C	D	不明					
よく考える児童の育成	教育効果の向上	基礎・基本の完全習得	朝学習でのモジュール型短時間学習により、基礎・基本事項の習得を継続的に図る。 ●漢字 ●計算 ●タイピング	①	教	朝学習を有効に用いて、計画的に基礎・基本の定着を図りましたか。	61.1	11.1	0	0	27.8	93.2	6.8	0	34.5	43.0	18.1	4.1	0.3			
										72.2		0		27.8	-	-	-	77.5		22.2		0.3
					児	漢字(1年生はひらがな)や計算が、ドリルやテストでできるようになりましたか。	[状況]	●週3回の朝学習を、漢字や計算の基礎・基本の習得に充て、全校規模の確認テストを通して定着を図りました。 ●全国学習・学力状況調査における本校の平均は、全国平均を15ポイント超えており、着実に学力が伸びています。														
		保	家庭学習の中で、お子さんは、漢字や計算の基礎・基本ができていますか。	[取組]	●15分間の朝学習をモジュール型短時間学習として教育課程に位置付けて、計画的に基礎・基本を定着させてきた取組を継続し、それぞれの児童のつまづきを細やかに解消しながら、学習の土台を盤石にしていきます。																	
		各教科等を横断させたカリキュラムマネジメントの実施 [横糸]	各教科等の指導内容を横断させ、教育効果を向上させる。 ●言語活動の推進 ●道徳科の充実	②	教	国語科の言語活動など、各教科等を横断した総合的な学びを進めましたか。	38.9	38.9	0	0	22.7	88.3	11.7	0	26.0	48.8	20.8	4.1	0.3			
										77.8		0		22.7	-	-	-	74.8		24.9		0.3
	児				自分の考えを友達に話したり、友達の考えを参考にしたりできましたか。	[状況]	●国語科で学ぶ言語活動(インタビュー・メモ・発表など)が、他の教科・領域における自立的な活動を支えています。 ●複数の教科・領域を横断させた「市民科」単元を開発し、「地域活性化プロジェクト」や「平和学習」を実現しました。															
	保	お子さんは、コミュニケーションを通じて、考えを相手に伝えることができますか。	[取組]	●「市民科」単元を開発を通して、それぞれの児童が各教科等をまたいで問題解決を図る先進的な取組を推進します。そのために、6年間にわたる系統的な言語活動と並行して、「経済」「起業」「商品開発」などの単元開発を進めます。																		
	各教科等を縦断させたカリキュラムマネジメントの実施 [縦糸]	6年にわたる「課題改善カリキュラム」を進め、漢字や関数の系統的な理解を促す。 ●漢字の意味 ●図や表の活用	③	教	漢字や算数科の数量関係について、既習事項に基づく系統的な指導をしましたか。	50.0	27.8	0	0	22.2	95.4	4.6	0	22.0	53.1	22.0	2.1	0.8				
									77.8		0		22.2	-	-	-	75.1		24.1		0.8	
				児	これまでに学習してきたことを、新しい学習に生かすことはできましたか。	[状況]	●伝統的に苦手とされる算数科の「割合」を、図表を用いて、その数量関係を読み解く指導を、「課題改善カリキュラム」として具体化しました。全校規模の評価テストでは、全学年で図表の活用が進み、根拠ある立式を支えています。															
	保	お子さんは、過去に学習したことを、新たな学習に自ら生かすことができますか。	[取組]	●漢字と割合の「課題改善カリキュラム」では、教科書を徹底活用し、参照すべきページを示し、「ターゲット問題」を選定して、反復学習できるよう図りました。来年度の教科書改訂に応じ、記載内容を全て改め、遅滞なく指導にあたります。																		
ギガスクール構想の具現化	個別最適化された学びの実現	文房具として日常的にタブレット端末の活用を進める。 ●家庭学習との連携 ●情報モラル	④	教	教材の電子化も念頭に、タブレット端末の日常的な活用を図りましたか。	44.4	33.4	11.1	0	11.1	94.8	5.2	0	31.3	42.4	16.4	2.9	7.0				
									77.8		11.1		11.1	-	-	-	73.7		19.3		7.0	
				児	きまりを守ってタブレットを使い、知らないことを調べたり、考えを伝えたりしましたか。	[状況]	●自宅で事前に調べ、学校でその知見を集団検討に生かす「反転学習」が定着し、自立的な学習が進んでいます。 ●タブレット端末による外部機器の制御を全校児童が経験するとともに、ドローンやメタバースの導入を果たしました。															
		保	お子さんは、タブレット端末を、適切に学習活動に活用することができますか。	[取組]	●児童が自分の考えをもって授業に臨み、授業では集団での検討を軸として時間を有効に活用する「反転学習」は、個別最適化の「鍵」となります。そのため、タブレット端末を駆使し、「自ら伸びる」自立的な家庭学習に転換します。																	
		自立した学びを支える「学び方の学び」「考え方の学び」を、各教科等に応じて進める。 ●調べ方・まとめ方 ●思考ツールの活用	⑤	教	書籍や辞書、タブレットを用いた検索、インタビューによる調べ学習を進めましたか。	33.3	27.8	22.2	0	16.7	92.1	7.9	0	24.3	41.8	24.6	5.5	3.8				
					61.1		22.2		16.7	-	-	-	66.1		30.1		3.8					
児	知りたいことを調べるとき、本やタブレットを使ったり、他の人にたずねたりしましたか。			[状況]	●学び方の学び…国語科の教科書の編集方針に沿い、調べたり聞いたり、まとめたりする活動を重点化しています。 ●考え方の学び…校内研究を通して、タブレットでの「思考ツール」活用が進み、論理的に考える手段となっています。																	
保	家庭学習の中で、お子さんは、図書館の本や辞書、タブレットを活用できますか。	[取組]	●情報の特性や信頼性を理解して、場面に応じて書籍や辞書、タブレットを使い分けることが、自立的な学びを支えると考えます。西東京市図書館の職員を招いて、全学級で「調べ学習」の基本を学ぶなど、学びの基盤を整えます。																			

思いやりのある児童の育成	心に寄り添う指導の実現	「あったか学校」の実現	ユニバーサルデザインによる学習環境づくりを通して、全ての児童の学びに寄り添う。 ●机・椅子のサイズ ●視覚刺激・聴覚刺激の低減	⑥	教	教室の壁面やロッカーの整備、机・椅子のサイズ調整など、環境の整備をしましたか。	77.8	11.1	0	0	11.1	86.1	13.9	0	27.0	56.6	9.4	1.8	5.3		
					児	教室では、集中して学習することができましたか。	88.9		0		11.1	-	-	-	83.6		11.1		5.3		
					保	教室は、お子さんが学習に集中できる環境となっていますか。	[取組] ●空き教室を有効に活用し、空間的なゆとりのなかで学習課題別のグループワークを進め、その指導法を開発します。 ●児童の教材・教具を学年ごとの「第3の教室」に収納することで、視覚刺激を低減し、登下校時の荷物も軽減します。														
		教育相談機能の充実を図り、具体的方策を保護者と共有する。 ●カウンセリング ●ケース会議の充実 ●いじめの防止	⑦	教	教育相談の手法を用いて、児童や保護者のニーズに応えられましたか。	16.7	77.8	0	0	5.6	97.8	2.2	0	31.8	51.7	15.6	0.3	0.6			
				児	自分や友達を大切にしていますか。	94.4		0		5.6	-	-	-	83.5		15.9		0.6			
				保	お子さんは、自己肯定感や、他者への思いやりの心が育っていると思いますか。	[取組] ●定期的開催する校内委員会を、「問題解決型ケース会議」に刷新しました。困り感や課題のある児童へのオーダーメイドの対応を重視し、保護者や関連機関の同意に基づく、組織的かつ具体的な手立てを実行・評価していきます。															
		たくましい児童の育成	健やかな生活習慣の形成	健康づくりと体力づくりの推進	食育を推進し、栄養・運動・休養のバランスのとれた生活の基盤とする。 ●食育指導 ●残菜の削減	⑧	教	食育を通して、児童の食体験を助け、残菜を減らすことができましたか。	38.9	38.9	5.6	0	16.6	80.1	19.9	0	36.5	36.8	21.1	5.3	0.3
児	給食を、好き嫌いなく、残さず食べることができましたか。						77.8		5.6		16.6	-	-	-	73.3		26.4		0.3		
保	お子さんは、好き嫌いなくバランス良く食べることができますか。						[取組] ●継続的な食育指導を通して、混ぜご飯など白米を用いた献立の残菜が少なくなり、残菜の総量が減少しました。 ●地域の伝統料理や外国料理など、メニュー開発を進め、平和学習に合わせてウクライナのボルシチも実現しました。														
体力向上における、「遊び」の果たす役割を重視し、運動の日常化を図る。 ●用具の整備・購入 ●地域と連携した運動能力の向上	⑨			教	児童集団の遊びの体験を助け、外遊びを促すことができましたか。	44.4	44.5	0	0	11.1	82.3	17.7	0	59.1	26.3	9.4	3.8	1.4			
				児	休み時間は、校庭で友達と元気に遊ぶことができましたか。	88.9		0		11.1	-	-	-	85.4		13.2		1.4			
				保	お子さんは、屋外で友達と元気に遊ぶことができますか。	[取組] ●児童の走力の向上を具体的に図るため、サッカー日本代表フィジカルコーチによる「走り方教室」を実施しました。 ●水球のオリンピックを招き、ゲームを通して、スポーツの意味や価値、そこで得たものなど、うかがうことができました。															
伸びる児童の教育環境づくり	地域に開かれた学校の実現	コミュニティ・スクールの持続可能な運営	教科「市民科」を進め、地域の教育力を用いた地域教材により、総合的・実践的な問題解決力を高める。 ●花プロジェクト ●地域活性化事業	⑩	教	児童の発達段階に応じて、総合的な問題解決学習の単元開発を図りましたか。	27.8	44.4	11.1	0	16.7	91.0	9.0	0	40.6	49.1	4.1	1.5	4.7		
					児	地域のみなさんのアドバイスのもとに、花を育てたりすることができましたか。	72.2		11.1		16.7	-	-	-	89.7		5.6		4.7		
					保	学校は、地域社会との連携を適切に行い、教育活動の充実を図っていますか。	[取組] ●コミュニティ・スクールとして、地域社会との協働の場を教育課程そのものとし、教科「市民科」を通して探究します。 ●新設した「音楽会」では、市の施策「ふるさと探究学習」を視野に、「わらべうた」に着目し、地域への発信も行います。														
		安全・安心を学校運営の基盤とし、地域ぐるみで「考える安全教育」を推進する。 ●防災・防犯の日 ●安全マップづくり	⑪	教	児童が、安全・安心を我が事としてとらえ、自ら退避行動をとれる指導をしましたか。	61.1	27.8	0	0	11.1	97.3	2.5	0.2	34.9	53.1	5.9	0.6	5.5			
				児	地震や火事、不審者から、どうやって自分を守るか、訓練で知ることができましたか。	88.9		0		11.1	-	-	-	88.0		6.5		5.5			
				保	学校は、お子さんの自立的な安全・安心のために、工夫した手立てを講じていますか。	[取組] ●「東京都安全教育推進校」として、柳沢中とともに、安全教育に係る先進的な取組を推進する役割を担っています。 ●全児童の通学経路を集計して、動線と通行量を把握しており、毎日の登校時見守りのルートに反映しています。															
指導環境の充実	校務改善による働き方改革の推進	校務の合理化により、職員が児童と向き合う時間を創出する。 ●IT化の推進 ●外部人材の組織化	⑫	教	校務の改善は進んでいると思いますか。	0	72.2	22.2	5.6	0	86.9	13.1	0	35.2	43.5	5.0	0.3	16.0			
				児	先生と話したり、いっしょに遊んだり、分からないところを相談したりできましたか。	72.2		27.8		0	-	-	-	78.7		5.3		16.0			
				保	教職員の校務改善が、指導の質の向上につながっていると思いますか。	[取組] ●朝学習を整備・活用して時数に計上することで土曜授業を減らし、学力向上と働き方改革の両立を図っています。 ●学校運営の組織化と権限委譲により会議を削減し、学校行事の選択と集中により、職員の退勤時間が早まりました。 ●スクールサポートスタッフや副校長業務支援員、地域学校協働活動推進員、学生ボランティア等の人材を組織化し、事務室を経営に参画させるとともに、年度途中でも職員の業務洗い出しをして、校務分担の適性化を図っています。															